



信州大学

SHINSHU UNIVERSITY

誇れる伝統、文化を未来へ。

Shinshu University



70<sup>th</sup>

Matsumoto Higher School

100<sup>th</sup>  
Anniversary

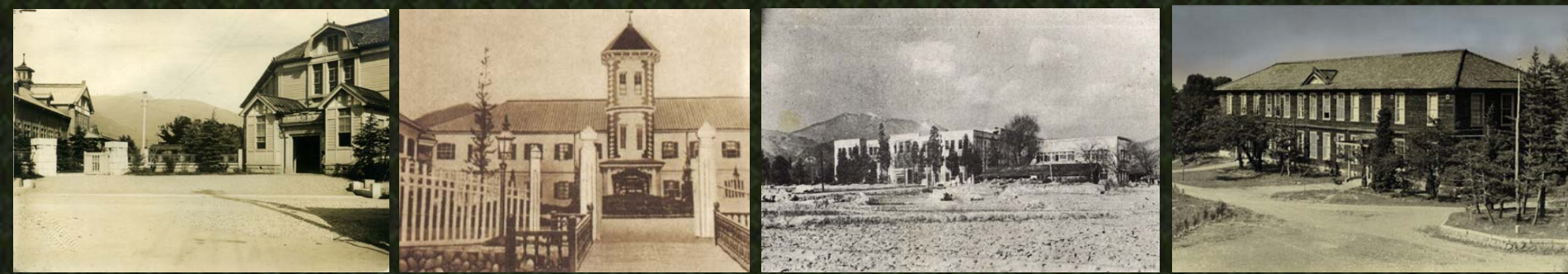


**信州大学創立70周年**

旧制松本高等学校100周年記念事業

# 信州大学歴史探訪

— キャンパスに刻まれた記憶 —



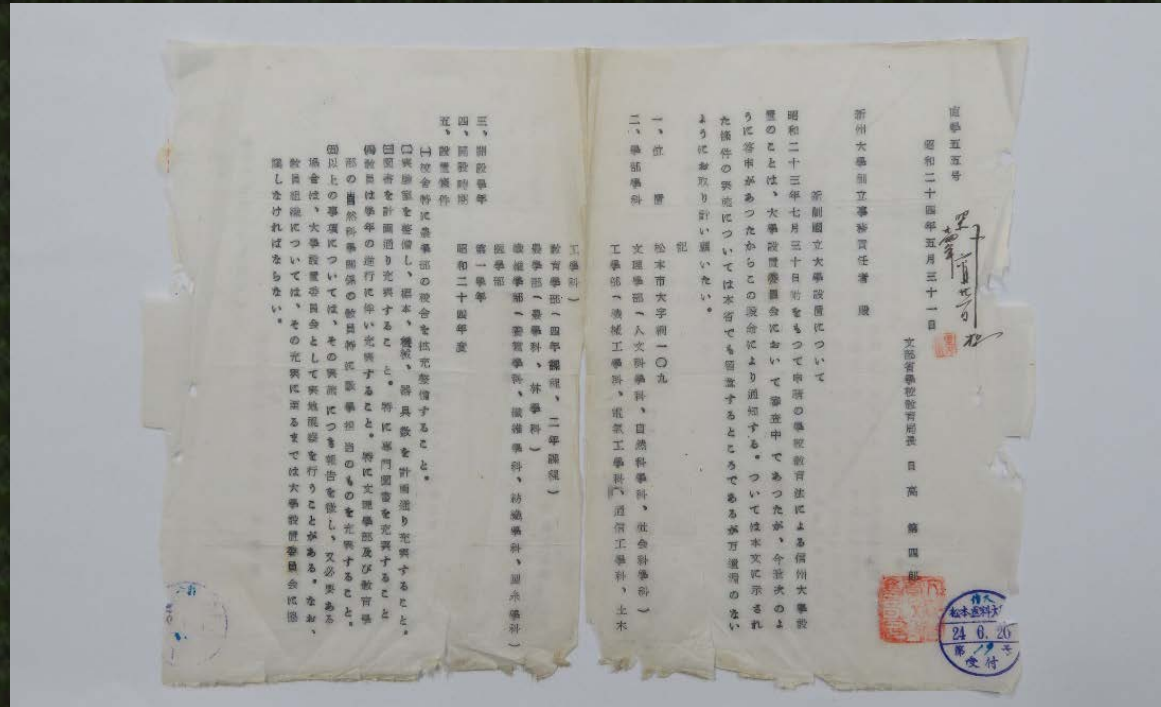
# プロローグ 信州大学開学

戦後に設置された新制大学は、1947(昭和22)年の学校教育法における大学制度の制定に始まった。

信州大学は、1949年5月31日の国立学校設置法で設置され、翌日の6月1日に開学した。

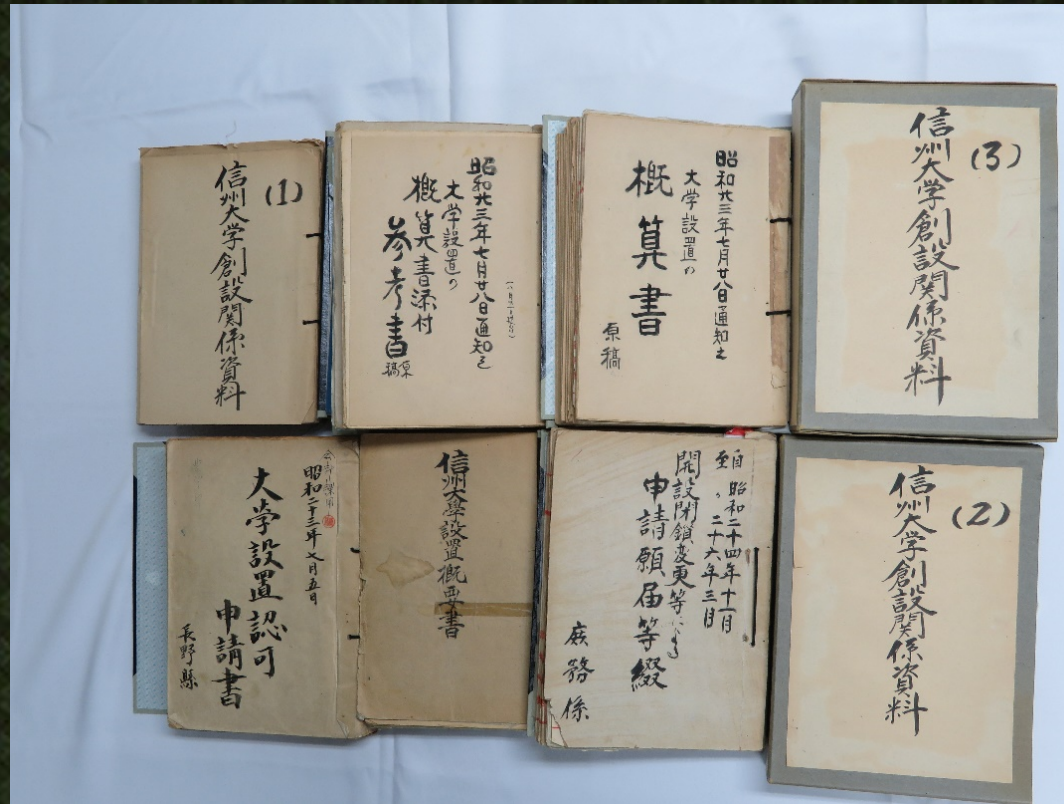


# 開学に関する文部省学校教育局長からの通知文



1949(昭和24)年5月31日付けの文部省学校教育局長からの通知文が残る。信州大学は文理・工・教育・農・繊維・医の6学部で構成され、それぞれの前身校のキャンパスとなっていた、松本、長野、伊那、上田の各地に立地した。

# 信州大学創設関係資料



大学の開学を物語る関係資料は、大切に保存され、本学の創設期の状況を知ることができる貴重な資料となっている。

# 開学式場の門



開学式は、創立1年を迎えた1950(昭和25)年10月30日に行われた。大学本部が置かれた旭キャンパスの正門の前に、祝賀を表し、杉の葉で飾りつけられた大きなアーチが設えられた

# スライド構成

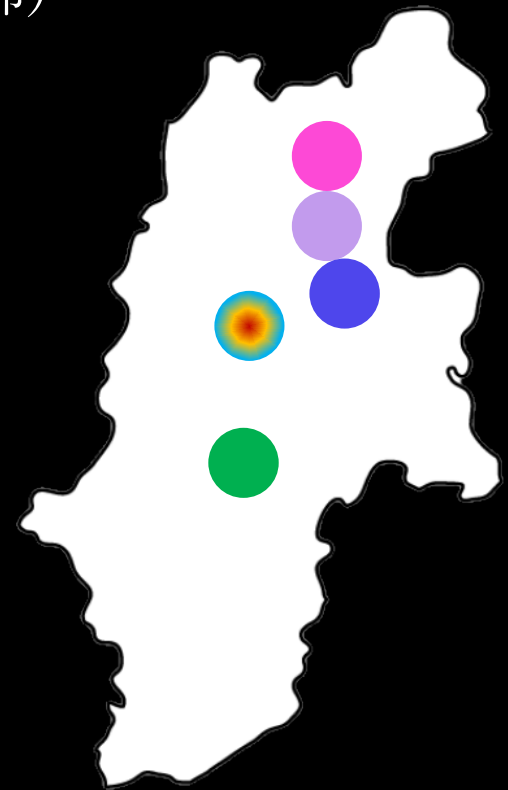
松本キャンパス（人文学部・理学部・経法学部・医学部）

長野（教育）キャンパス（教育学部）

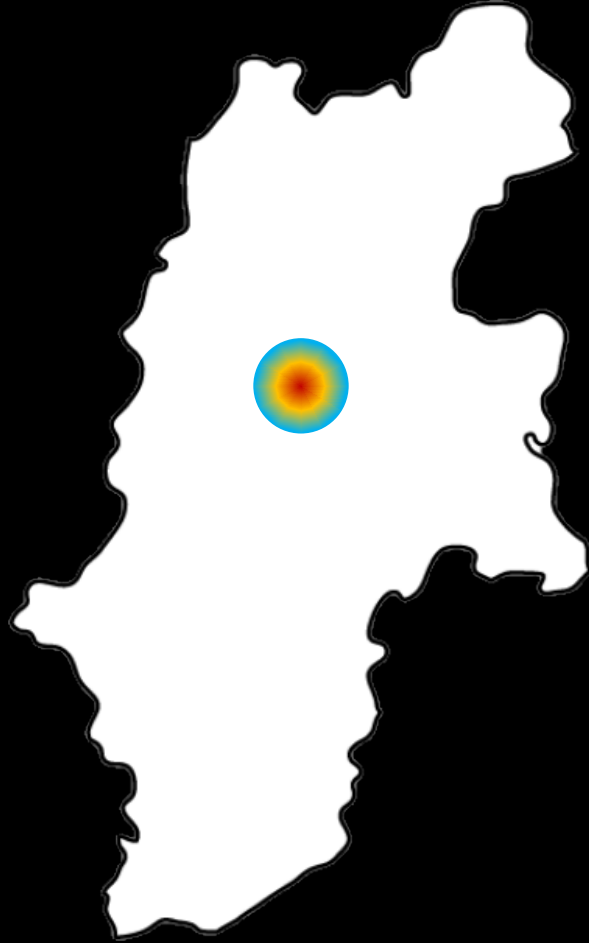
長野（工学）キャンパス（工学部）

伊那キャンパス（農学部）

上田キャンパス（繊維学部）





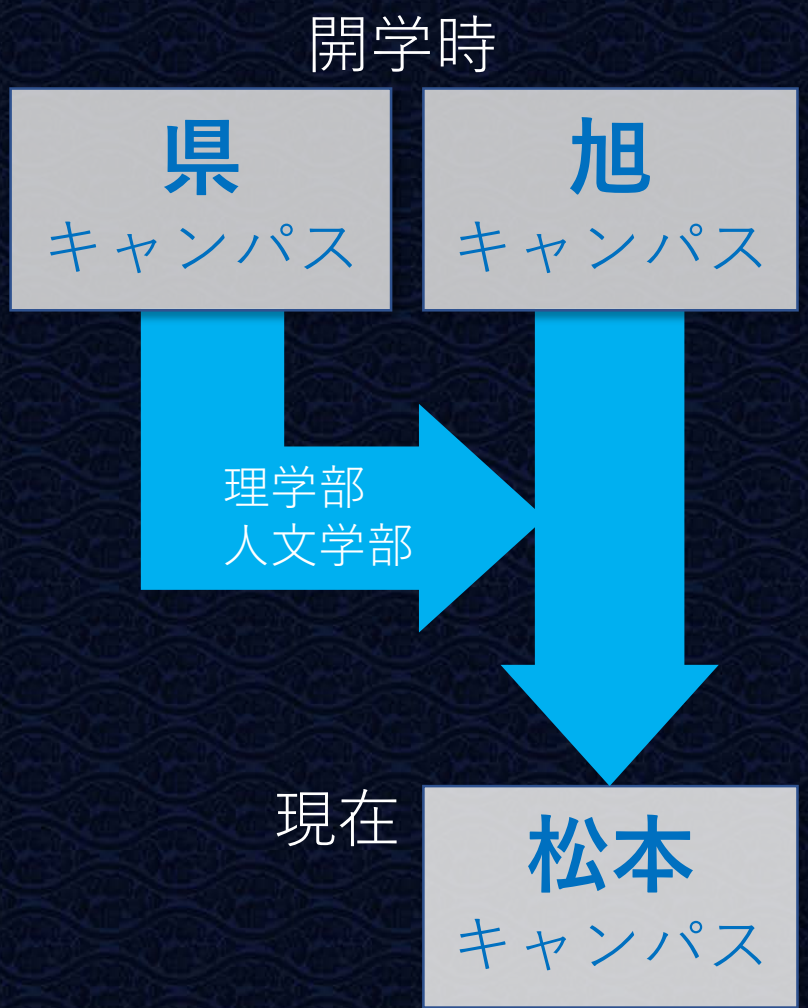


# 松本キャンパス



松本キャンパスには、人文・経法・理・医の4つの学部と全学教育機構が置かれている。

# 県・旭キャンパスと松本キャンパス




開学してしばらくの間、旧制松本高等学校と文理学部、人文・理学部は県キャンパス、松本医学専門学校・松本医科大学、医学部は旭キャンパスに分かれていたが、1973(昭和48)年までに旭キャンパスに統合され、松本キャンパスと呼ばれるようになった。

# 県キャンパス 松本高等学校、信州大学文理学部、人文・理学部



松本高等学校は、明治以来の高等教育機関誘致の運動が実り、1919(大正8)年に開学した。同年、校舎の建設も始まり、本館が1920年、講堂は1922年に完成した。



# 県キャンパス

松本高等学校、信州大学文理学部、人文・理学部

松本高等学校は、1950(昭和25)年に閉学するまで31年間、約5000名の学生を送り出した。

# 重要文化財 旧制松本高等学校校舎本館



本館には、校長室・教員室のほか、普通教室が置かれた。明治時代の煉瓦造りの建物とは異なり、大正時代の自由な気風を感じる校舎である。

# 重要文化財 旧制松本高等学校校舎講堂



講堂は、屋根に付けられた換気用の小塔や、講堂入口の円形のデザインなどに大正期の高等学校の建築様式の特徴がみられる。

# 当初の姿に復元された施設



校舎は整備活用が図られ、玄関・校長室・教室・講堂などが開学当初の姿に復原された。



# 当初の姿に復元された施設

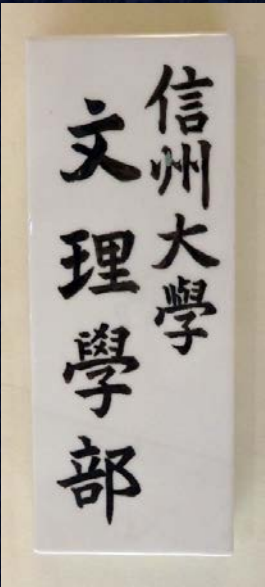
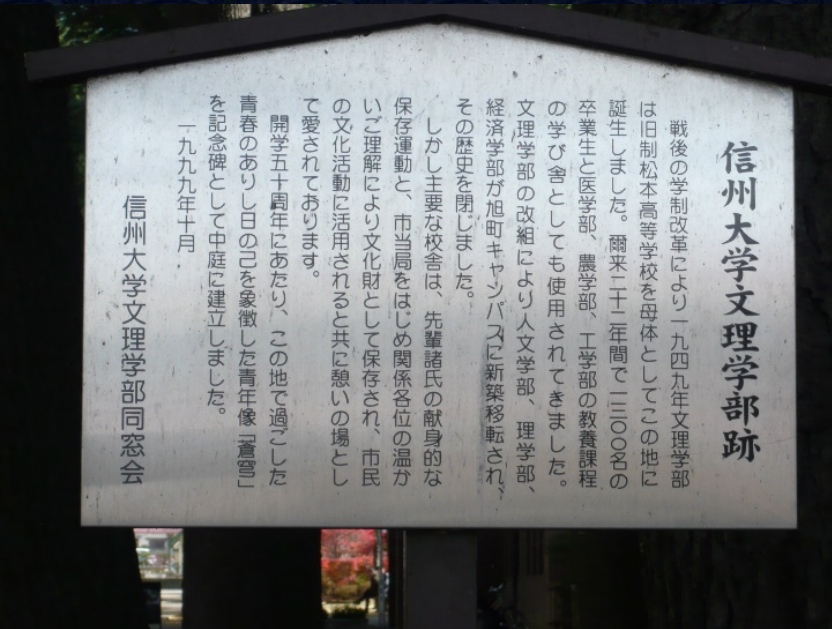


本館・講堂とあわせて2007(平成19)年に重要文化財に指定された。

# 文理学部のおもかげ

信州大学開学後も文理学部、人文学部・理学部のキャンパスとして使われたが、1973(昭和48)年に旭キャンパスに移転した。

移転後、校舎は一部を残し解体され、敷地と本館・講堂が松本市に引き継がれた。



# 旧制松本高等学校 思誠寮



開学翌年の大正9(1920)年9月3日に思誠寮（北寮・中寮・南寮）が学校敷地内に開寮した。

# 思誠寮

松本高等学校  
思誠寮跡  
昭和58年9月  
70周年記念

跡地の地面には銘板が埋め込まれている。



学生の自治寮として、信州大学文理学部になった後も存続したが、1983(昭和58)年3月に現在地の横田に新築移転した。

# 寮歌祭



毎年5月、講堂を会場に寮歌祭が行われている。

# あがたの森公園



本館・講堂以外の跡地はあがたの森公園として整備され、市民の憩いの場として親しまれている。

# ヒマラヤ杉の並木



植物学者の第2代校長大渡忠太郎により植樹されたヒマラヤ杉の並木が現存する。正門から続くメインストリートに60本ほどが残されている。

# 松本高等学校記念碑

校舎の建設に際し、移転した県の宮のあった場所にはケヤキの木立が残り、その地に1968(昭和43)年、創立50周年の記念碑が建てられている。碑文に「われらの青春ここにありき」と刻まれている。





# 旭キャンパス

松本医学専門学校・松本医科大学 信州大学医学部

日中戦争・太平洋戦争のなか、軍医養成、医師確保の政策が進められ、1944(昭和19)年に全国5つの官立医学専門学校の一つとして松本医学専門学校が設置された。1948年2月には松本医科大学に昇格。同時に医専も存続した。

# 松本歩兵第五十連隊之図



医専での授業は仮校舎で行われたが、終戦後、竹内松次郎校長の奔走もあり、1946(昭和21)年6月、旧松本歩兵第五十連隊跡地への移転が実現し、現在の旭キャンパスとなった。

# 旧歩兵第五十連隊跡の碑



松本キャンパスの北端には、五十連隊跡の碑が立ち、この地の成り立ちを物語っている。

# 医学部資料室

国登録有形文化財 旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫

開学当初の建物で現在も残されているのは、医学部資料室として利用されている旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫である。1908(明治41)年に連隊が設置された時のレンガ造りの建物。



# 医学部資料室

国登録有形文化財 旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫



2012(平成24)年には国の登録有形文化財に登録された。  
キャンパスの歴史を物語る証人として一層の活用が望まれる。

# 医学部サークル室 旧松本歩兵第五十連隊倉庫



旧五十連隊のレンガ造りの建物で、医学部の病理学教室として利用され、現在はサークル室として使われている。

# 医学部倉庫

旧松本歩兵第五十連隊倉庫

1940年頃の建設になるレンガ造りの倉庫。大学設置以前の起源を持つ建物の一つである。



# 松本キャンパス

人文・経法・理・医学部



信州大学開学から1950年代までは、県の旧制松本高等学校の校舎を文理学部が、旭町の旧五十連隊の兵舎と松本市立病院（鷹匠町）を医学部がそれぞれ利用する形が続いた。



# 1963年の旭キャンパス



1955年頃から旭キャンパスで医学部の病棟建築が始まった。  
1956(昭和31)年、写真中央に見える病棟が、新築完成した。  
旧兵舎を転用した校舎から新しい建物へと変わりはじめた。

# 1968年に完成した教養部の校舎



1966(昭和41)年に教養部（現在の全学共通教育機構）ができ、  
1968年に校舎が新築された。

# 2007年のキャンパス

An aerial photograph of a university campus in 2007. The campus is a large, rectangular area with numerous buildings, mostly with light-colored roofs. There are several large sports fields, including baseball diamonds and soccer fields. A prominent feature is a large, multi-story building with a red roof. The campus is surrounded by a dense residential area with many small houses. A road and a railway line are visible on the left side of the campus.

1968(昭和43)年に理学部が、1973年に人文学部が県キャンパスから移転し、松本キャンパスの形が整った。

1978年には人文学部経済学科が経済学部として独立した。

2016(平成28)年、経法学部に改組された。

## ケヤキ並木

医学部と附属病院の間にはケヤキ並木の通りがある。

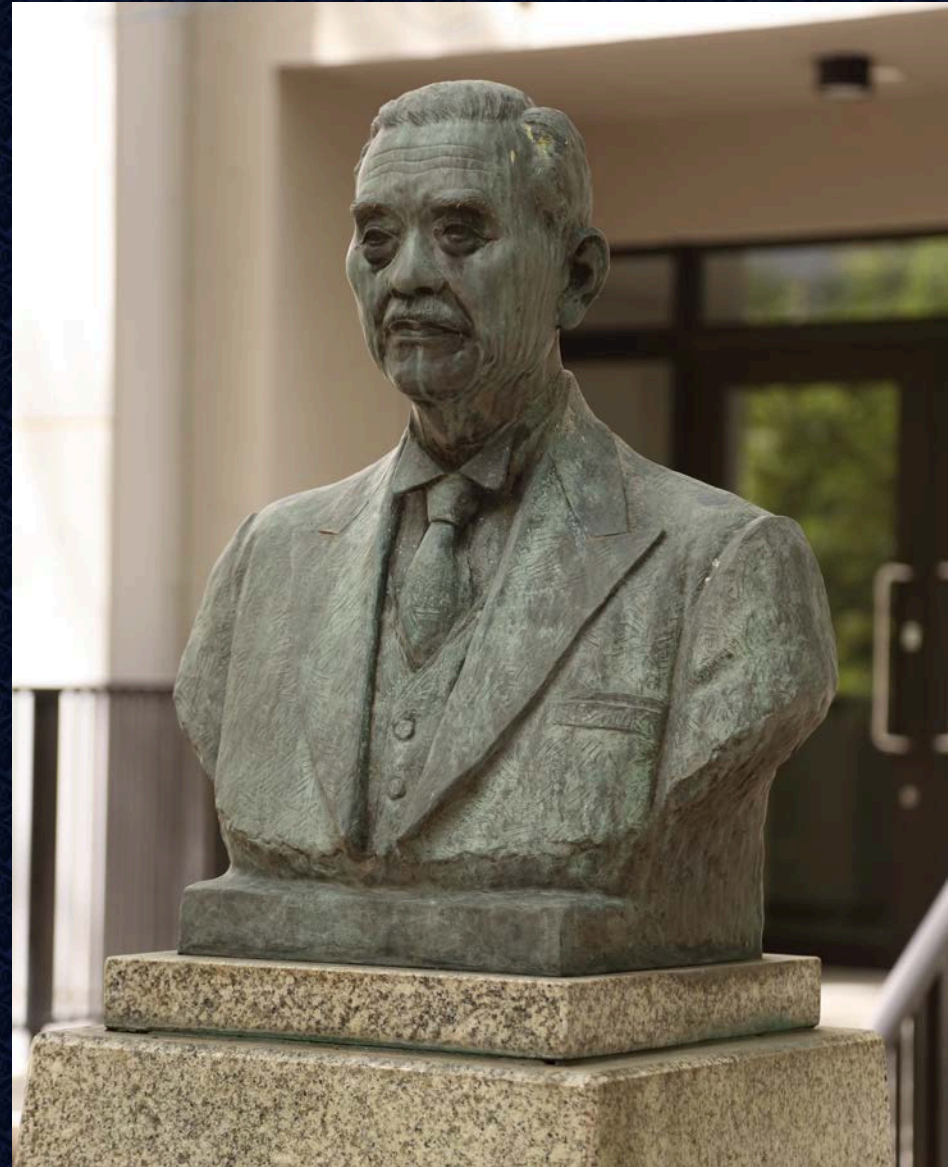
1946(昭和21)年4月に松本医学専門学校(現松本医科大学)の竹内校長が、当時のメインストリートの両側に記念樹を植栽させたもので、木々が大きく育ったが、今でもその面影を感ずることができる。



現在のケヤキ並木

# 竹内松次郎初代医学部長像

このケヤキ並木のなかに、竹内松次郎の銅像が建てられている。松本医学専門学校校長、松本医科大学学長を歴任し、信州大学開学に際しては設置事務局長を務め、初代医学部長となった。



# 旧 医療技術短期大学部 信州大学医学部保健学科石碑



松本市立病院附属看護講習所を起源とする松本医学専門学校医院看護婦講習所は、1952(昭和25)年に信州大学医学部附属甲種看護養成所、翌年に附属看護学校となった。1974年、医学部附属臨床検査技師学校と統合して信州大学医療技術短期大学部となり、2002(平成14)年、現在の医学部保健学科へ改組された。

# ヒポクラテスの木

医学の祖、ヒポクラテスがプラタナスの木の下で弟子たちに医学を教えたとの伝説になぞらえて、ヒポクラテスの木と呼ばれている。本学の木は、1969(昭和44)年にギリシャから運ばれた種から育ったものである。



# ニュートンのりんごの木



万有引力を発見する契機となった原木の遺伝子をもつ。  
1996(平成8)年の理学部物理科学科発足を記念して植樹した。



# 現在の松本キャンパス

人文学部

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。

# 現在の松本キャンパス

## 経法学部

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。

# 現在の松本キャンパス

理学部

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。

# 現在の松本キャンパス



## 医学部

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。



現在の松本キャンパス

医学部保健学科

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。



# 現在の松本キャンパス

## 大学法人本部

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。

# 現在の松本キャンパス



## 全学教育機構

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。

# 現在の松本キャンパス



## 医学部附属病院

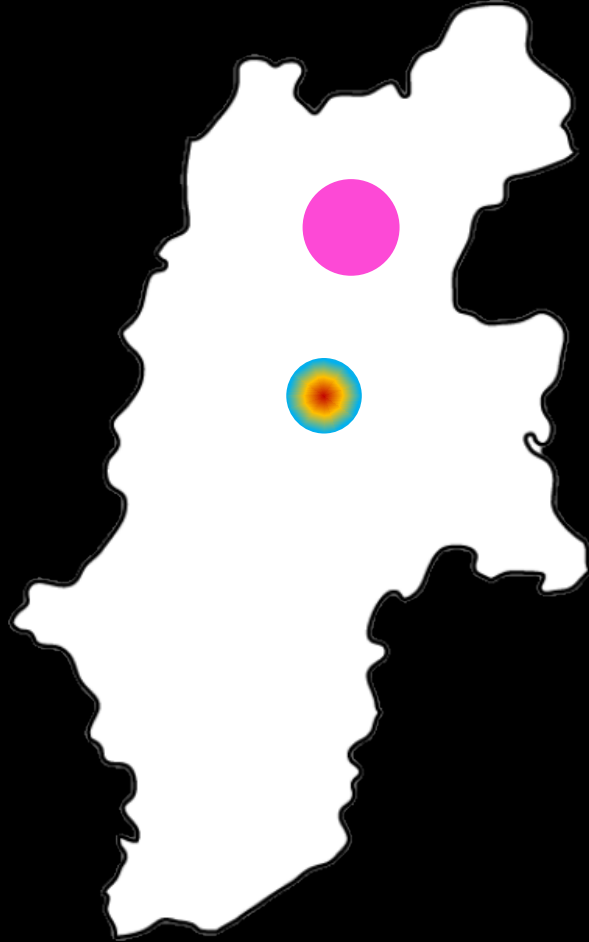
70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。



# 現在の松本キャンパス

## 中央図書館

70周年を迎え、新しい時代に向け、松本キャンパスの発展が期待される。



# 長野（教育）キャンパス

## 教育学部



長野（教育）キャンパスは前身校の一つである長野県尋常師範学校が旧県庁舎の西隣に新築されたことにより、現在の長野市西長野の地に定まった。

# 旧長野県師範学校 (長野市長野長門町)



1873(明治6)年に開設した旧長野県の師範講習所は、1875年に師範学校となり、長野村豎石（現 長野市立図書館）に校舎が建設された。1876年、現在の長野県が成立すると、筑摩県師範学校を併合し、長野県師範学校本校となった。

# 旧長野県師範学校教師館



北野建設(株)所有

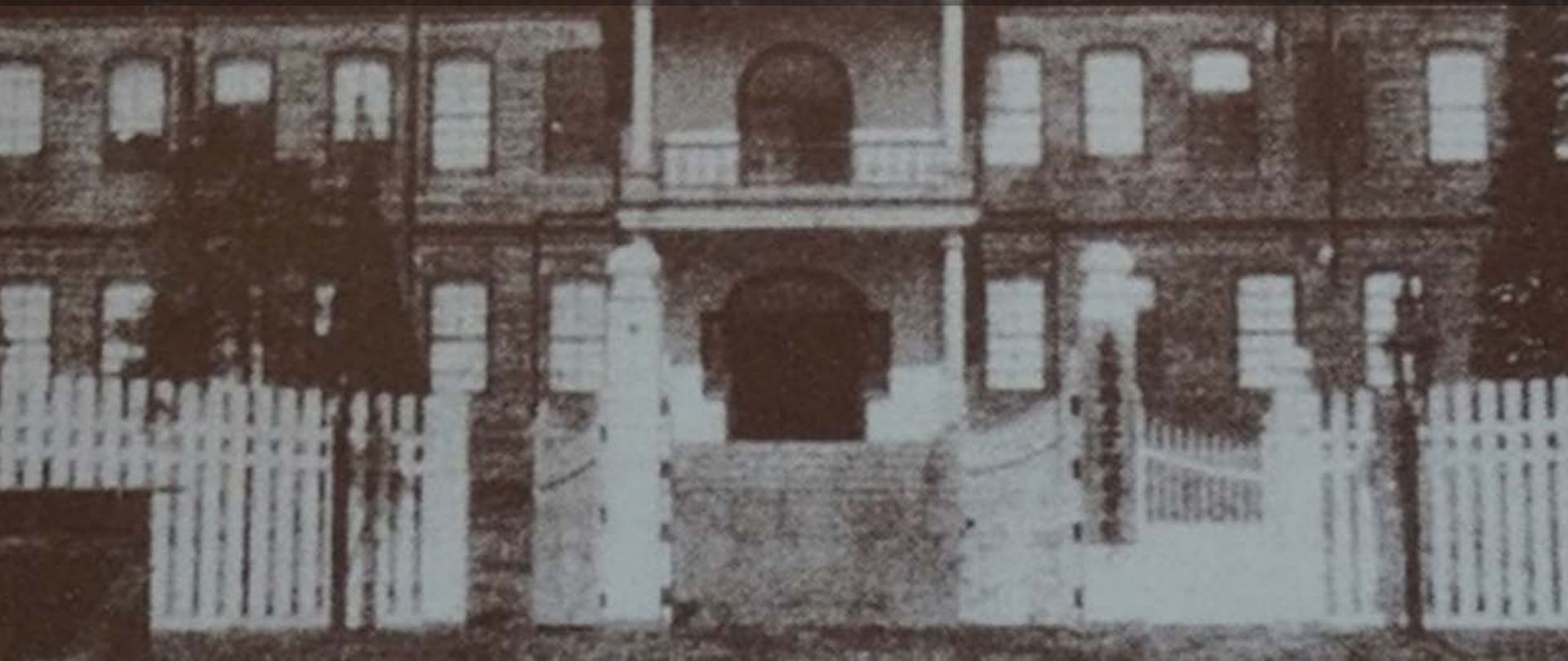
教師館は1875(明治8)年竣工し、今に残る当時の貴重な建物である。長野市上ヶ屋に移築され、長野県宝に指定されている。

# 長野県師範学校松本支校 (松本市丸の内)



1873(明治6)年に開設した筑摩県の師範講習所は、師範学校(松本宮村町)を経て、長野県師範学校松本支校となった。1877年、地藏清水(現 日銀松本支店)に校舎が新築された。1883年、支校は廃止され、長野県師範学校が松本に移された。

# 長野県尋常師範学校 (長野市西長野)



1886(明治19)年、長野県師範学校は、松本から長野に移転して、長野県尋常師範学校となった。1887年、旧県庁舎の西隣(現 キャンパスの地)に校舎が新築された。

# 石碑公園



正門脇の石碑公園には、師範学校当時の教育者を顕彰する4基の頌徳碑がある。



# 「信州教育」先駆者達の頌徳碑



能勢 栄  
1852 - 1895



浅岡 一  
1851 - 1926



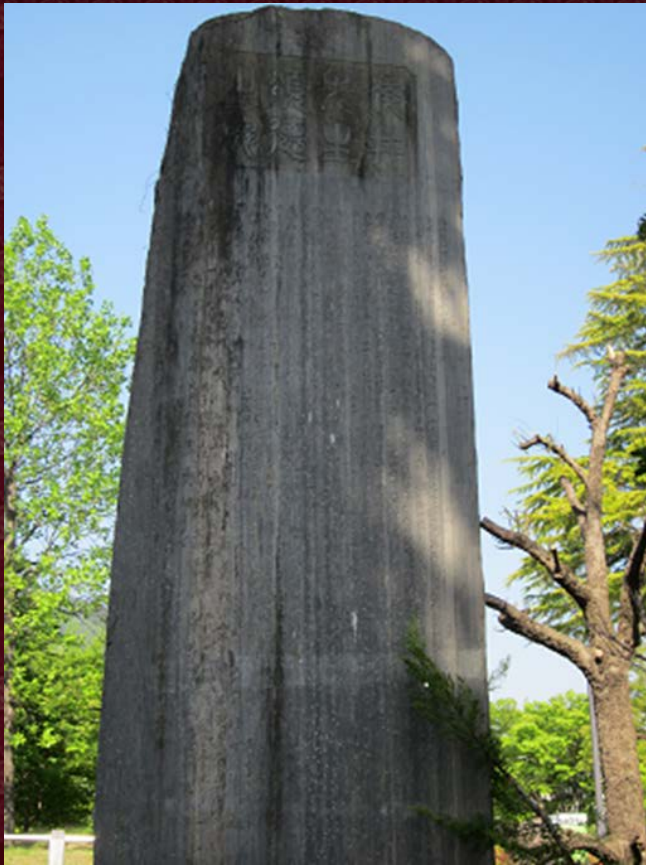
正木直太郎  
1856 - 1934



4基のうちの3基は、師範学校の校長を務めた3人の業績を称えている。

# 浅井泷先生頌徳碑

直筆「唱歌 信濃国」



浅井 泷  
1849 - 1934



もう1基は、のちの長野県歌「信濃の国」の歌詞の作者であり、  
師範学校で教諭として慕われた浅井泷の碑である。

# 教育学部同窓会 赤煉瓦館

国登録有形文化財  
旧長野県庁書籍庫



1895(明治28)年に旧県庁の書籍庫として建てられたレンガ造りの建物。旧県庁が移転した際に、師範学校の所管となった。

# 赤煉瓦館の内部

藩校文庫や師範学校時代の貴重な図書が収められていた。

2008(平成20)年に国の登録有形文化財に登録され、2017年の改修後は教育学部同窓会赤煉瓦館となった。



改修後の様子



# 前身校1 - 官立長野師範学校 (男子部)



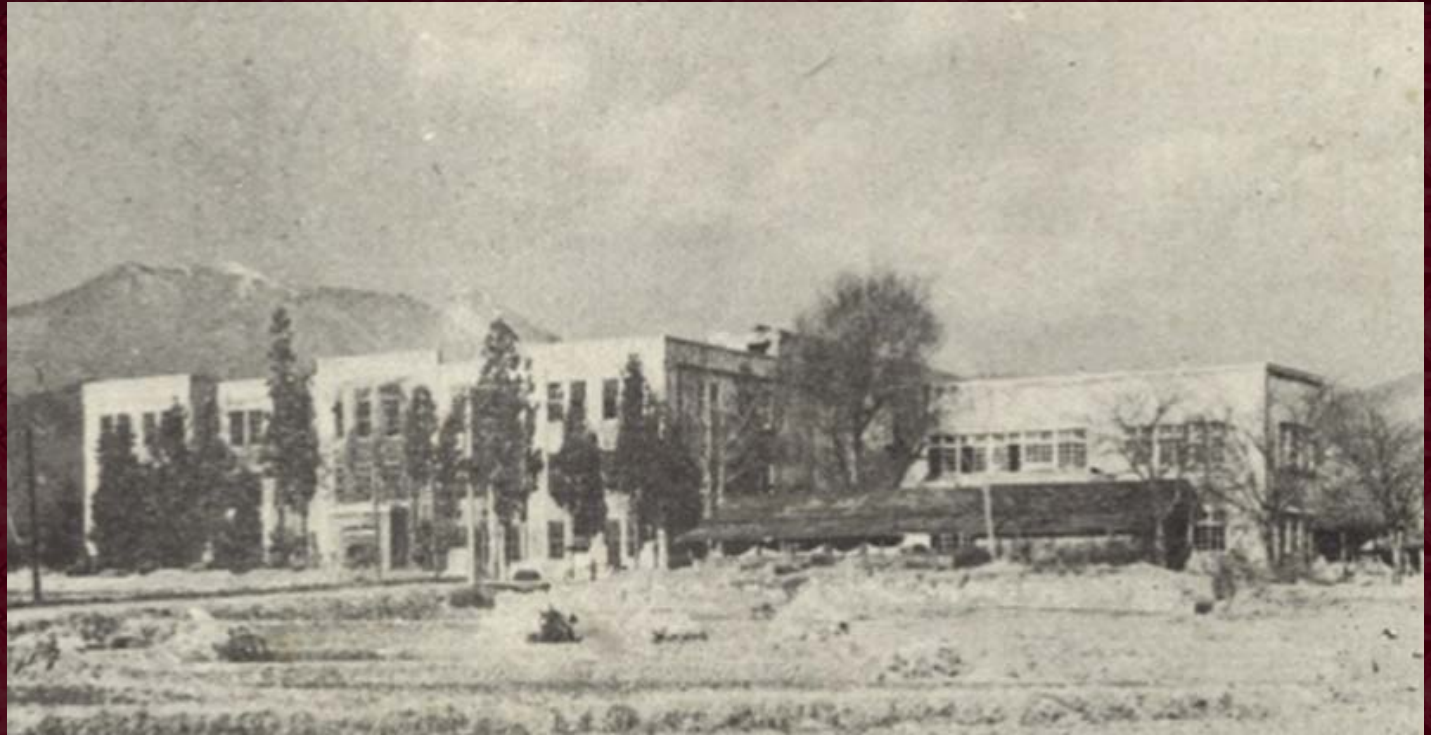
西長野の長野県尋常師範学校は、1898(明治31)年、長野県師範学校となり、1943(昭和18)年には官立長野師範学校(男子部)となる。

## 前身校 2 - 官立長野師範学校 (女子部)



1902(明治35)年に長野県松本女子師範学校が設置認可され、  
1905年、元原町(現 附属松本学校園)に開校した。  
1943(昭和18)年に官立長野師範学校(女子部)となる。

## 前身校 3 - 官立長野青年師範学校



1918(大正7)年、長野県実業補習学校教員養成所が設置され、長野県農事試験場(現 若里公園)を仮校舎とした。

1926(昭和元)年、長野市吉田(現 長野吉田高等学校)に移転し、1944(昭和19)年、官立長野青年師範学校となる。

# 信州大学教育学部発足



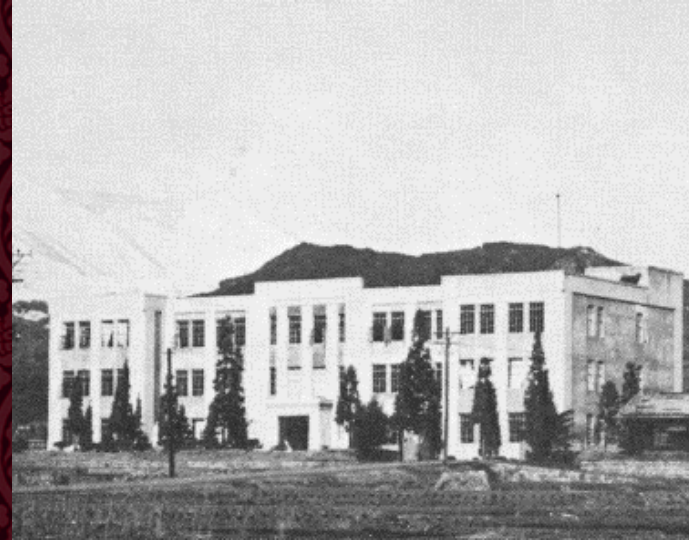
長野本校本館

旧官立長野師範学校男子部



松本分校本館

旧官立長野師範学校女子部



吉田分教場

旧官立長野青年師範学校

1949(昭和24)年、各師範学校が統合し、信州大学教育学部として発足した。



# 長野（教育）キャンパスの姿



1997(平成9)年にはキャンパス西側の附属長野小学校が長野市南堀に移転し、現在のキャンパスの姿となった。

# 附属学校園（長野市南堀）



附属長野小学校（1887年 長野県尋常師範学校附属小学校創立）



附属長野中学校（1947年 長野師範学校男子部附属中学校創立）



附属特別支援学校（1975年 附属養護学校新設）



附属長野中学校北門  
旧県庁の門柱

師範学校、教育学部とともに歩んできた附属長野学校園

# 附属学校園 (松本市桐)



附属幼稚園 (1967年 開園)



附属松本小学校 (1905年 松本女子師範学校附属小学校創立)



附属松本中学校 (1947年 長野師範学校女子部附属中学校創立)

かつての松本女子師範学校跡に立つ附属松本学校園

# 和行堂・蔵書



和行堂



信/府 松本十景句集

附属図書館(中央図書館)所蔵

附属松本小学校には、松本女子師範学校時代の建物として、和行堂が残る。また、師範学校が所蔵していた貴重な図書・資料が大学に受け継がれている。

# 研究・実践施設の充実



西校舎（1996年完成）



次世代型学び研究開発センター棟(1976年完成)

「臨床の知」の理念のもとに、教育に関する高度な専門知識と実践的な教育技術を探求するため、構内施設が充実されていった。

# キャンパスの歴史を刻むもの



勝雲山先生彰徳碑（1960年建立）

勝繁は書道教育に力を尽くした。碑には「努力は天才に勝る」の銘が刻まれる。



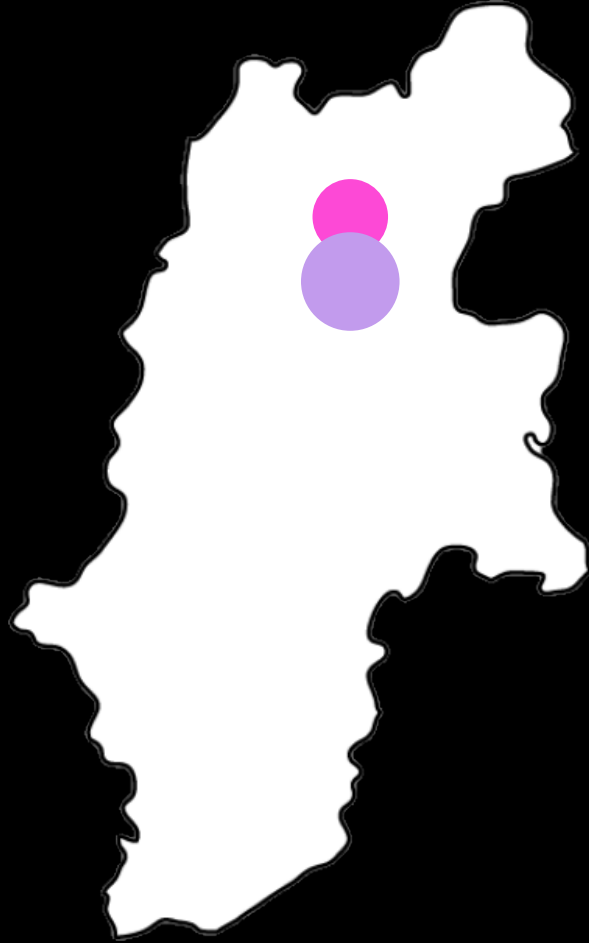
正門近くの大きなヒマラヤ杉

教育学部の歴史を刻む石碑や木々も数多く残されている。

# 長野（教育）キャンパスの現在



長野（教育）キャンパスは、信州の恵まれた自然環境の中で、豊かな情緒と多様性に触れながら、教育の真髄を極め、その心を未来に継承する人材を育成している。





# 長野(工学)キャンパス

## 工学部



長野（工学）キャンパスは、前身校である長野工業専門学校が、長野市若里の長野県長野工業試験場の敷地、建物、設備を譲り受け、校地として定まったことにはじまる。

# 長野高等工業学校・長野工業専門学校



長野高等工業学校の校章



長野工業学校（長野市岡田町）

長年の誘致運動により、1943(昭和18)年に長野高等工業学校が設立され、長野市岡田町の長野工業学校を仮校舎とした。翌年、官立の長野工業専門学校となる。

# 長野工業専門学校 … 若里へ



長野工業専門学校当初の建物

1944(昭和19)年、長野市若里にあった長野工業試験場の土地・建物・設備が、長野県から文部省に寄付され、長野工業専門学校の校地となった。

# 武道場



1940(昭和15)年に長野工業試験場の施設として建てられ、長野工業専門学校の材料実験室であった工学部最古の建物。

# 武道場の内部



内部は越屋根のある特徴的な屋根組みの天井が良く観察でき、木造建築構造の事例として学習活用されている。

# 長野工業専門学校 正門・校舎



長野工業専門学校正門と本館（1944年撮影）



第2校舎

1945(昭和20)年以降、校地東側の第1・第2校舎および寄宿舍が完成し、工業専門学校としての体裁が整っていった。

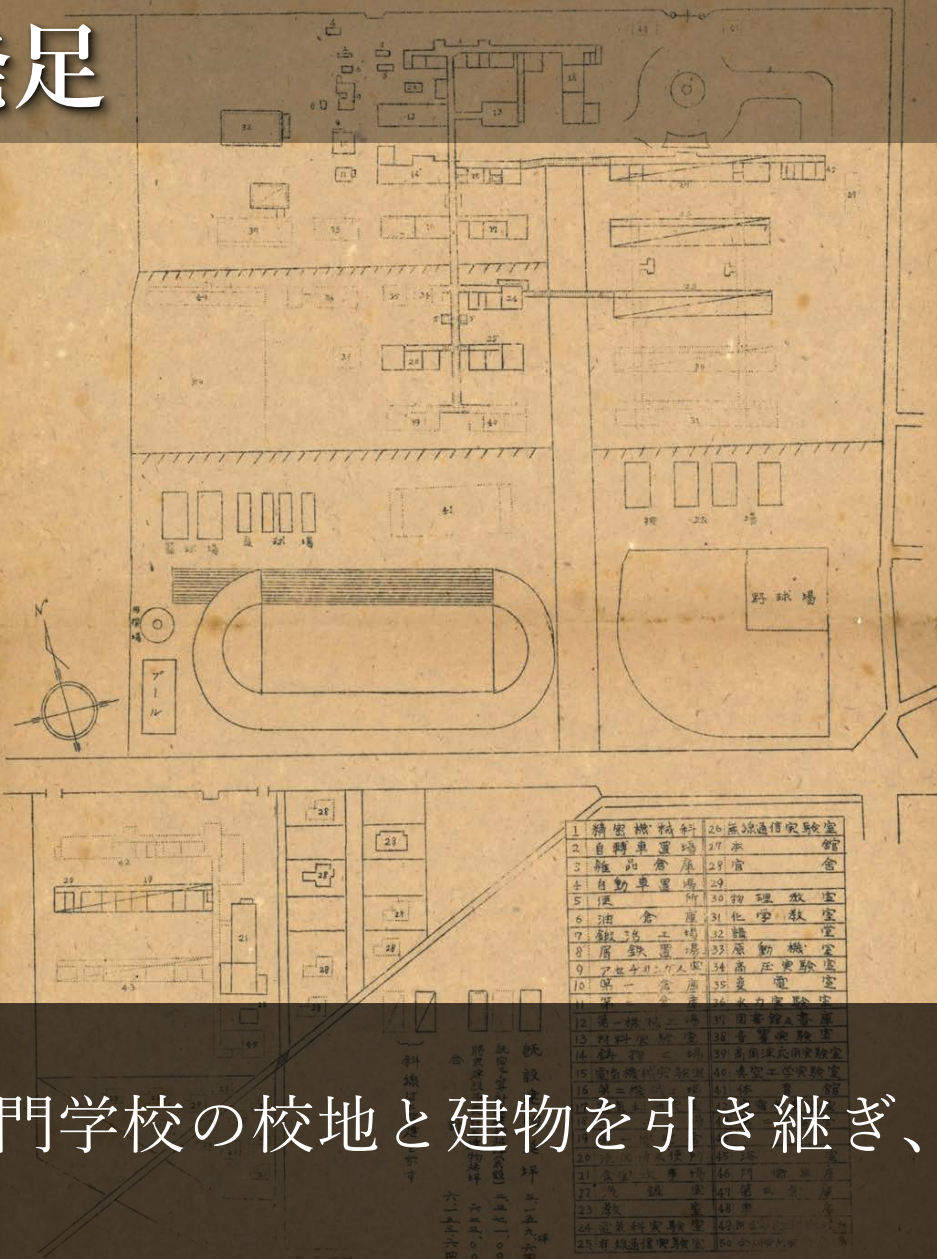
# 信州大学工学部の発足

信州大学工学部設置申請書

長野工業専門学

1949(昭和24)年、長野工業専門学校の校地と建物を引き継ぎ、信州大学工学部が発足した。

長野工業専門学校配置図



# 工学部発足当初の正門と校舎



現存する校名プレート

信州大学工学部の名前が入った新しい正門が造られ、現在に至る工学部の礎が完成した。



# 1960年の工学部



昭和30年ごろには、校舎や実習・実験棟のほかにも大学の象徴的な施設が拡充していった。

# 旧図書館・講堂



1953(昭和28)年に旧図書館、翌年は講堂が完成し、入学式、卒業式が執り行われた。

# 体育館



1958(昭和33)年、グラウンドの脇に現存する木造の体育館が完成した。

# 1962年の工学部



1962(昭和37)年、鉄筋コンクリート造りの工業化学科棟が落成した。

# 姫塚・櫨の木

キャンパスの西隣にある姫塚は熊谷次郎直実の伝説とともに、ケヤキの巨木がその歴史を物語る。

かつて、杜の木陰は学生達の憩いの場であったと懐かしむ卒業生の声もある。



佛導寺所有

# 1967年の工学部



1960年代には近代的な鉄筋コンクリート造の建物が次々と建設されていった。

# 1977年の工学部



1970年代には、木造校舎が姿を消し、新設の学科棟などは高層の建物となっていた。

# 図書館・食堂棟



工学部図書館(1971年完成)



食堂・売店・就職支援室・技術部棟(1976年完成)

郊外に立地するキャンパスにとって、待望の新しい図書館や生協食堂棟が建てられた。



# 2003年の工学部

An aerial photograph of a university campus. The image shows a dense cluster of multi-story academic buildings with various roof colors (grey, blue, green). There are several green spaces, including a large rectangular field in the upper right and smaller courtyards. A road with cars is visible on the left side. The overall scene is a typical university campus layout.

地域の発展とともに、工学部での研究分野の拡大と深化が求められ、先端研究・学外協力施設の拡充がなされていく。

# 研究施設の充実



SUIRLO (1995年完成)



総合研究棟 (2003年完成)



UFO (2005年完成)

大学の垣根を超え、さまざまな外部機関と協力して先端科学技術の探求と研究を担う施設が次々と完成した。

# 長野（工学）キャンパスの新正門



国際科学イノベーションセンター棟と信州科学技術総合振興センター棟が建てられ、2016(平成28)年には新しい正門が完成し、現在の工学部の顔となった。

# キャンパスの潤い



建物の周りには、四季折々の木々の彩りや池の水面はキャンパスの潤いとなっている。

# キャンパスの歴史を刻むもの

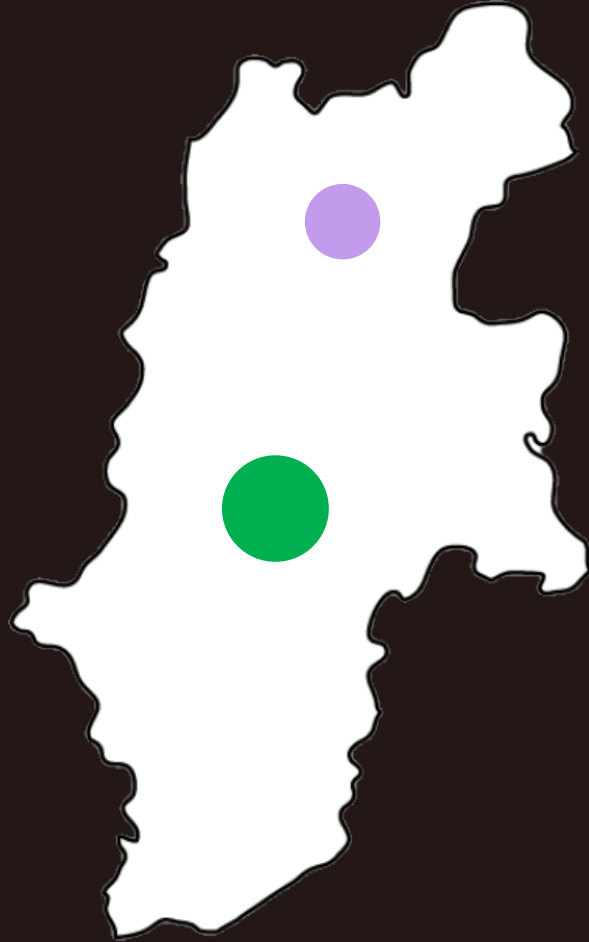


工学部発足当時からグラウンドの周りに植えられていたポプラは今も健在である。

# 長野（工学）キャンパスの現在



長野（工学）キャンパスは、恵まれた自然の中で、科学技術と環境保全との調和を探求し、個性的な先端研究を推進するとともに、世界の工業発展に貢献する人材を育てている。



# 伊那キャンパス 農学部



伊那キャンパスは、前身校である長野県立農林専門学校が開校して以後、現在に至るまで変わることなく南箕輪村の地に置かれる。





## 長野県立農林専門学校

1945(昭和20)年4月、戦時下における農業教育の専門機関が必要であるとして、長野県立農林専門学校が地元の協力のもと開校した。

当初校舎はなく、上伊那農業学校と伊那商業学校で授業が行われた。

# 上伊那農業高校 中の原農場



農林専門学校に所縁のある農場は、上農寮村上記念農場とも呼ばれている。

# 村上明彦先生

中の原農場の敷地内には、  
初代農林専門学校長と上伊  
那農業学校長を兼任した村  
上明彦先生の顕彰碑がある。



# 上伊那農業高等学校 正門



開校当時の上伊那農業学校の正門は、校地移転後の現在も受け継がれ歴史を伝えている。

# 伊那商業学校建立跡記念碑



伊那商業学校は、1948(昭和23)年に廃校となった。

学校跡地に「士魂商才」と記された石碑が、卒業生により1993年に設置された。

# 伊那キャンパスの成立



1947(昭和22)年、農林専門学校は現在のキャンパスの地に移転し、校舎が新築される。

# 伊那キャンパスの成立



学生も、授業を受けながら、建設に携わった。

# 信州大学農学部誕生



本館（1950年完成）

1949(昭和24)年、農林専門学校は信州大学農学部となる。



# 農学部本館



1950(昭和25)年に完成した本館は1971年に建て替えられ、現在の管理講義棟となる。

# 中原寮



1949(昭和24)年、構内に木造平屋建の中原寮が建てられた。

# 中原寮



1965(昭和40)年、鉄筋コンクリート3階建に立て替えられた。  
現在も自治寮としての伝統が引き継がれている。

# 旧図書館



旧図書館 1953年完成

1953(昭和28)年に建設された旧図書館。

# 現在の図書館



現図書館 1971年完成

1971(昭和46)年に建設された現在の図書館。

# 初代正門



1952(昭和27)年、新制大学の発足を記念し、同窓会の寄附によって建設された。

# 現在の正門



2014(平成26)年、初代門柱の青銅製銘板と石を利用して再建された。

## ゆりの木並木

1954(昭和29)年と1957年に植えられたゆりの木は、正門から続く並木道となっている。

森林に囲まれたキャンパスを代表する景観のひとつとして、地域の人々にも親しまれている。





# 演習林



自然豊かな演習林や農場が前身校より受け継がれている。現在も実習や調査対象として研究が行われ、フィールドワークの場として発展し続けている。

# 農場



自然豊かな演習林や農場が前身校より受け継がれている。現在も実習や調査対象として研究が行われ、フィールドワークの場として発展し続けている。

# 芋ノ田の横井戸と水神碑



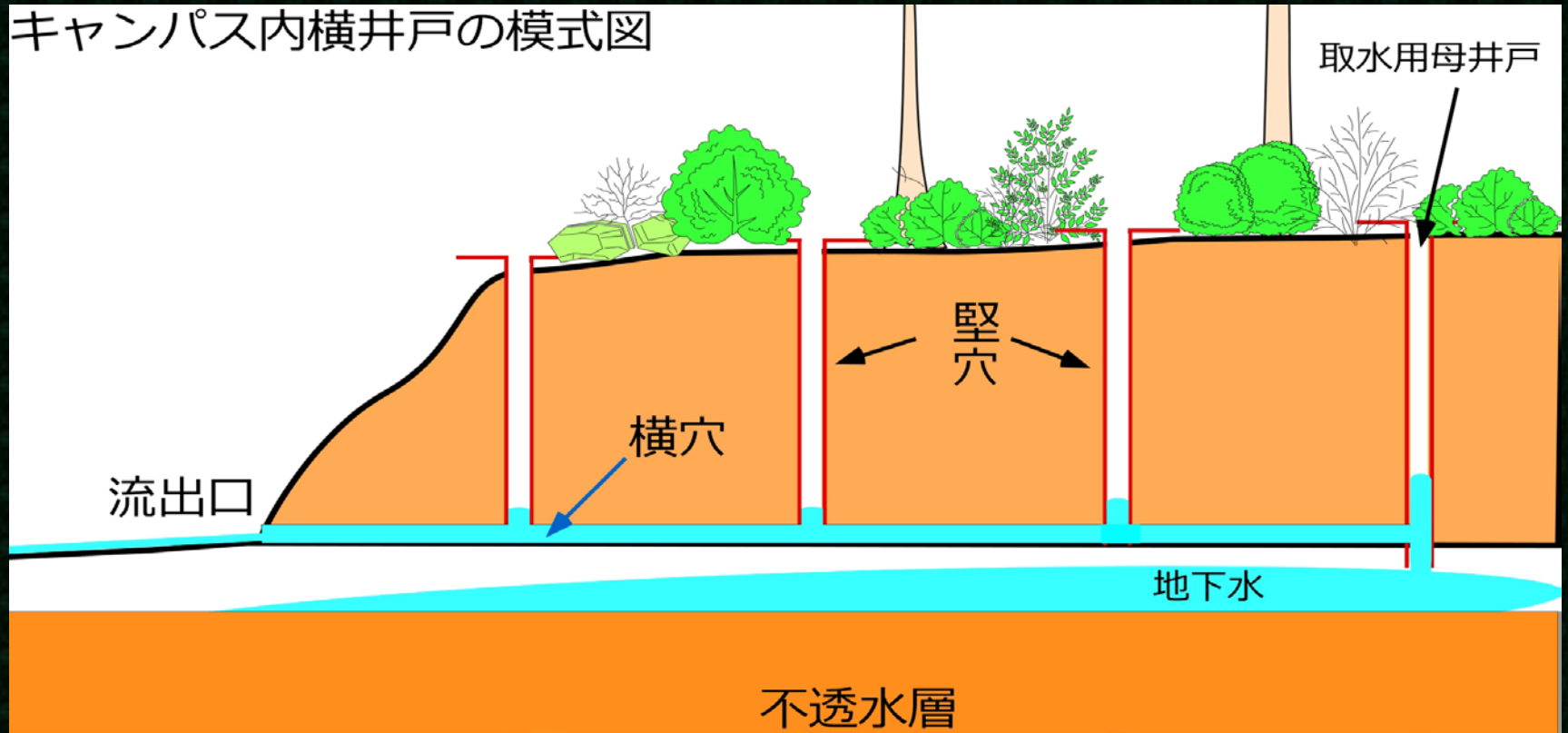
横井戸は、扇状地で水を得るため掘削された歴史を持ち、上伊那地方には複数存在する。キャンパス内には明治時代につくられた横井戸と1905(明治38)年建立の水神碑がある。

# 芋ノ田の横井戸の距離



キャンパス内にある2本の横井戸は、合わせて720mほどにおよぶ。  
現在も灌漑に使用され、災害時のライフラインとしての活用研究もされている。

# キャンパス内横井戸の模式図



横井戸がある芋ノ田の地は水源の確保に欠かせない土地であった。横井戸は農地に水をもたらす人々の智慧と暮らしを伝える農業遺産である。

# 開拓記念碑



開拓記念碑 1903年建立



芋田開墾碑 1903年建立

構内演習林の中には開拓者の碑が置かれ、明治時代にこの土地を開墾、開田し、水利を得たことの功績を伝える。

# 現在の伊那キャンパス



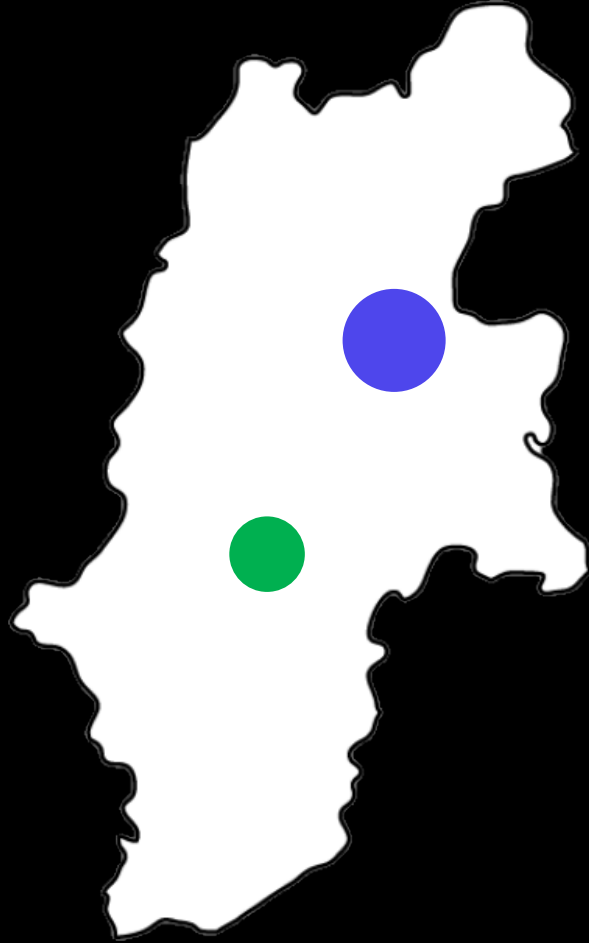
農学部は標高770メートル。国立大学の中でもっと高い場所に位置し、広大なフィールドを持つ。

# 現在の伊那キャンパス

An aerial photograph of the Ina Campus. The main building is a large, multi-story structure with a light-colored facade and a green roof, surrounded by lush green trees. In the background, there is a town and a range of mountains under a blue sky with some clouds.

豊かな森の中で自然と人が共生できる社会の創造を目指し、  
食料・環境・生命を支える教育・研究を行っている。





# 上田キャンパス 繊維学部



繊維学部のあるキャンパスは、前身校である上田蚕糸専門学校が1910(明治43)年に設立されて以降、現在に至るまで110年間、変わることなく上田市常田の地におかれる。

# 上田蚕糸専門学校



1910(明治43)年、官立の高等教育機関として上田蚕糸専門学校が設立される。長野県は国に蚕糸専門学校設立を要請し、蚕糸業の重要性が認められ設立が決まった。その後、県内各地域による誘致運動が行われ、上田の地が選ばれた。

# 針塚初代校長の胸像 1931年建立



針塚長太郎は1908(明治41)年に蚕糸専門学校創立委員長に任命され、1910年から1938(昭和13)年までの28年間、初代校長を務め、蚕糸教育の発展に尽力した。

# 石碑「蚕霊供養塔」

1923(大正12)年の建立時には正門付近にあった。実験や研究に使われた蚕を供養する、供養祭が行われた。

刻まれた文字は針塚校長の筆によるもので、針塚校長は書道に優れ、上田周辺の多くの石碑に筆跡を残す。



# 繊維学部資料館

国登録有形文化財



1911(明治44)年の建設当初から、繭を保管する貯繭庫として使用され、現在は繊維学部の資料館となっている。  
上田キャンパスでは最古の建造物である。

# 警務員室 国登録有形文化財



1912(大正元)年に守衛所として建てられ、現在も警務員室として使用されている。

上田キャンパスでは2番目に古い建造物である。

# 武道場



1912(大正元)年、校門付近に建てられたが、1967(昭和42)年に移築、改装されて現在に至る。



# 講堂

## 国登録有形文化財



1929(昭和4)年に完成し、各所に蚕糸を象徴する桑や繭などの意匠が見られる。

# 講堂内部



内部の装飾が重厚な雰囲気醸し出す。入学式、卒業式など様々な行事が催された。

現在も卒業式や学会会場などに利用されている。

# 旧千曲会館

上田市指定有形文化財



1935(昭和10)年、上田蚕糸専門学校創立25周年の記念事業で、同窓会館として建てられた。

2018(平成30)年に建物の修復が完了した。

# 旧アイソトープ実験棟

現図書館書庫



1930(昭和5)年、養蚕科のための蚕体生理学実験室として建てられた。その後、アイソトープ実験室として用いられた。

# 上田繊維専門学校



戦争が激化する時代、政府は教育においても戦時非常体制の強化をはかり、専門学校の体制を変え、蚕糸専門学校は1944(昭和19)年に上田繊維専門学校と改称された。

# 附属農場



1911(明治44)年に開墾され、実習用の桑を栽培していた。キャンパスの半分が桑畑であったが、その後、建物が増え、1944(昭和19)年には現在の規模となった。桑の品種を保存する農場として、約480種の桑を栽培している。

# 信州大学繊維学部



1949(昭和24)年、上田繊維専門学校を引き継ぎ、信州大学繊維学部が発足した。

# 先進ファイバー紡糸棟 (J2棟)



1971(昭和46)年、生協ホールとして建てられ、食堂と購買部が併設されていた。購買部では、書籍、文房具、白衣などが売られており、学生生活の必需品が購入できた。



# 果樹

針塚初代校長が、全国から親元を離れて集まった学生たちが食べるものに困らぬようにと、果樹を植えたと伝わる。現在でもキャンパス内には、柿や胡桃、ざくろなどの木が見られる。



## 三吉米熊のしだれ桑

三吉米熊(1860-1927)は上田蚕糸  
専門学校設立委員の一人で、同  
校の教授も務めた。しだれ桑は  
米熊が留学したフランスから観  
賞用に持ち帰ったものと伝わり、  
現在もキャンパスの歴史を伝え  
る景観の一部となっている。



# キャンパス北側境界の桜並木

かつて、キャンパス北側境界を流れる川沿いには桜並木があり、学生や地域の人々の憩いの場となっていた。

同窓会100周年の記念として、2016(平成28)年に、同窓会員・学生・教職員が、再び桜の植樹を行った。



# ヒマラヤ杉



1919(大正8)年に植えられ、上田キャンパスに多く残る古木の一つで、現在に至るまで学生の生活を見守り続けてきた。

# 卒業生寄贈の校名碑



信州大学繊維学部

キャンパス入口にある石造校名碑、各学科名を記した石碑、石灯籠やオブジェなどは、緑間武氏から寄贈されたものである。緑間氏は沖縄県出身で、1943(昭和18)年に蚕糸専門学校入学。学徒出陣ののちに復学し、多くの苦難を乗り越えて卒業した。

# 上田キャンパスの現在



「蚕都」上田の地に立地し、繊維に関する高度な研究を続けてきたキャンパスは、附属農場も併設され、工学と農学を基にした最先端のファイバー工学が研究されている。

# エピローグ



信州の地に期待を担って誕生した信州大学・・・  
その建物やキャンパスの景観は、前身校の時代から、  
ともに歩んできた地域のシンボルともなりました。

誇れる伝統、文化を未来へ。  
Shinshu University  
70<sup>th</sup>  
Matsumoto Higher School  
100<sup>th</sup>  
Anniversary

# 2019年 誇れる伝統、文化を未来へ

各キャンパスの立地する地域の発展とともに、信州  
大学は、未来を展望して、歩み続けます。





協力

松本市教育委員会

旧制高校記念館

書肆 秋櫻舎

柳下 洋子

文理学部同窓会

人文学部同窓会

経済学部同窓会

理学部同窓会

松医会

医学部保健学科同窓会

医学部のケヤキ並木



協 力

長野県立歴史館

長野県松本深志高等学校

信濃教育会

信濃教育博物館

北野建設株式会社

書肆 秋櫻舎

小林 比出代

齊藤 忠彦

西 一夫

教育学部同窓会



協 力

長野県

長野工業高等学校

佛導寺

曲水会

信土会

宮入 圭一

篠原 壽人

工学部同窓会

工学部の池



協力

長野県

上伊那農業高等学校

南箕輪村教育委員会

神子柴の文化歴史遺産を

伝える会

井上 直人

北澤 秋司

松澤 英太郎

横山 俊一

農学部同窓会



協 力

上田市立博物館

太田 和親

白井 汪芳

榎本 祐嗣

石坂 征洋

千曲会

繊維学部のメインストリート

# 「信州大学歴史探訪 (キャンパスに刻まれた記憶)」

70周年記念モーショントロゴ      モーション制作：千吉良祐弥  
(教育学研究科学生)

スライド 撮影・制作・編集      蛭田直 (教育学部)  
島田佳奈      黒岩大輔      横山愛香  
古平萌      中村友音      稲井祐 (教育学部生)

協力      土本 俊和 (工学部)

信州大学附属図書館

制作      信州大学大学史資料センター

2019年3月31日

## 利用制限

当スライドショーに掲載されている情報（文書、写真、動画）について、私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらのコンテンツを無断でコピー・加工・配布・出版することはご遠慮ください。引用する場合には、引用の要件を守ってください。